



ありんこ便り

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報

2021 年
11月8日発行
通巻第 44 号

「ありの会」へのご意見・ご要望は 〒192-0355 八王子市堀之内1236-8 社会福祉法人由木かたくりの会会付「ありんこポスト」までに郵送するか、「ありんこポスト」に直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 <http://arinkorenroku.g2.xrea.com/> 》です。

Go to かたくり

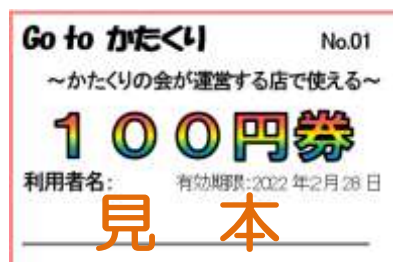
新型コロナウイルスが日本で流行し始めてからもうすぐ 2 年になろうとしています。未知なウイルスに戸惑い、マスク、アルコール消毒類が店頭からなくなり、今でこそ聞きなれてしまった「緊急事態宣言」も出され利用者様、ご家族の皆さまは不安な中この 2 年近くを過ごされたかと思います。

そのような中でも、かたくりを守り、ご自身のご家族を守って下さった職員の皆さまには本当に感謝の想いでいっぱいです。かたくり全体で本当に難しい対応の中、利用者様、ご家族、職員の皆さまがそれぞれ頑張ってくださったおかげで現在があると思います。ありがとうございます。

さて、巷では「GO TO～」の動きも少しずつ出始めてきたので、ありの会でも後援会と共同で「GO TO かたくり」と銘打って、かたくりの活性化に少しでもお役にたてればと思い、利用者様、職員の皆さまに金券を配布させて頂きました。

かたくりが運営するレストラン、喫茶、ベーカリー、ぷらさ、及びかたくりマルシェの、かたくりの製品やメニューで使うことが出来ます（製品を販売委託している外部施設等では使用できませんのでご注意ください）。おつりは出ませんので、100 円未満の端数は現金でお支払い下さい。使用する際は利用者の名前をフルネームで記入し、切りはなしでかたくりのレジにお渡し下さい。また、今回は商品購入以外にも金券をそのまま事業所へ提出して頂き法人への寄付として使用して頂くことも可能です。その場合は利用者の名前をフルネームで記入の上、各事業所へ寄付の旨お伝えください。今までにない、日常、経済状況から少しでも這い上がって、「あり」のように地道にコツコツと活動支援しなければと思います。

これからインフルエンザ等の季節性の感染症の流行期を迎えます。皆さまとお顔を合わせて会える日は近いと信じ、体調に気を付けて過ごしていただければと思います。



かたくりガーデンの今

かたくりを訪門すると、四季様々な花で出迎えてくれるガーデン。様々な花がきれいに咲いています。ガーデンの歴史は長く、ありの会と法人と一緒に古くなった柵を作り、ウッドチップを敷いたりしました。現在は会員の山田さんが丁寧に手入れをして下さっています。そんなガーデンの柵も作られてから 10 年以上たち劣化して来ている。

ウッドチップも風と共にどこかへ…歩きやすいようにコンクリートのようなものがあるものの雨が降るとぬかるんで危ないし逆に歩きづらい。そんな話を頂きました。



写真上：現在のガーデン、柵がボロボロ
写真右の上下：2014年に柵を修理した時



修繕について役員会で話し合いをしていると「そういえば、かたくりレストランのテラスも木材が傷んで危ないよね。」「コロナ禍でテラスで役員会を行うと日差しが強くて日差し除けが欲しい」と、修繕に関する話題が出てくる事。ここまで意見が出ると法人に修繕について伺い、協力して設備を整えてはどうかという事になり、法人と一緒に話し合いをしています。なので「庭の手入れならお任せ!」「日曜大工なら趣味だ!」「ガーデニングは得意!」「体力ならお任せ!」というご家族の皆さま、修繕について話が進みましたら改めて、ご連絡しますのでぜひともご協力お願いいたします。もちろん、コロナ禍で人恋しいという方も大歓迎です!

写真左：10月27日時点のガーデン

コンクリートのテストピースを貰って来て、すこしづつ並べています。

かたくりでの感染症対策

10月1日時点での 職員・利用者のワクチン接種状況です。
利用者さんですが、91名中、86名の方が接種されており約95%の接種率です。今後2名の方が接種予定とのことで、10月下旬には接種率は約97%になる予定です。

職員は、77名中、62名の接種。約81%の接種率です。今後の接種希望を含めると90%になる予定です。八王子市では、福祉施設に勤務されている方の優先接種を実施し、多くの方は7月末日に2回の接種を終えているところです。また、GH職員は東京都の事業により、職員30名程が毎週PCR検査を実施しています。6月から実施し10月までの実施となりますがおかげさまで、今まですべての検査で陽性疑い者は発生しておりません。

コロナ予防対策については、インフルエンザの対策と重なることも多く、年度末まで継続して取り組んでいく予定です。事業所の毎日の消毒、検温、パーテーションの活用、時間ズレの昼食の摂取、定時換気等です。また、インフルエンザ予防ワクチン接種については接種可能な職員は例年通り実施します。



「フェスタかたかご」について

まだまだコロナウィルスがくすぶっている現状。「代わりに楽しめるものは無いか？」と法人に伺いつつ、何かアイディアは無いのか…「安心、安全」を優先に！と考えるとありの会としては、答えが出ません。利用者様が楽しみにしている行事がすんなり出来ないのはもどかしいですが、法人と慎重に話し合いをしていますので、今は検討中です。ウィルス相手の行事企画は本当に難しい事をご理解頂ければと思います。



リニューアル

ありんこ掲示板

NHK「新日本風土記」に鈴木亨さんが登場

50年前東京都心に通うベッドタウンとして、日本最大規模の多摩ニュータウンが誕生した。

1971年わずか8000人の入居者が今や22万人、巨大な住宅街と大学が混在する住宅学園都市に生まれ変わった。

その多摩丘陵に未だに、酪農や、養蚕業、農業を営む人々がいる。1965年開発が始まり、宅地造成で転職と立ち退きを求められながら、この自然豊かな街を必死に守ろうとした人々、変わる街、変わらぬ人々の物語である。

その中に「かたくりの家」にとって忘れてはならない鈴木昇さん、亨さん親子がいた。当時堀之内地区には12軒の酪農家と、200頭の乳牛がいて、酪農銀座とも呼ばれ、私がこの地に転居してきた当時は、京王線の北側には田園が広がり、牛糞の臭いが風に乘って漂い、南側の新しいマンション群と対比をなしていた。

鈴木さんたちはニュータウンの中に、農地や緑があることが、暮らしを潤い豊かにするのだと訴え続け、国や東京都との17年間の交渉の末、堀之内の酪農地帯がニュータウン計画の唯一の除外区域になったのである。その一角に「かたくりの家」が鈴木昇さんのご協力によって設立されたのだった。

そして毎休日、「かたくりの家」を建てる為に、保護者の皆さんはスコップ片手に汗を流した。ちょうど現在の「かたくりの家」の先にある堀之内第一トンネルの工事が始まっていた。

当初鈴木昇さんは、「かたくりの家」の前の平山通りの建設にあたって、利用者の安全を考え、直線道路はスピードの出し過ぎの危険があり、ある程度カーブをつけることを主張されていたという。

こうして鈴木さんはじめ多くの方々の支援によって誕生した「かたくりの家」の利用者も20数人から今や90人になり、この街の変貌とともに、大きく変わった。この番組を見て、昔懐かしい光景に思いをはせながら、先人たちが残してくれた自然豊かなこの地を大切に守りたいという感を改めて強くした。





最後に鈴木亨さんが「お父さんは何故そこまで頑張ったんでしょうね」とインタビュアーから問われ、一言「この地を愛していたから」という言葉が印象的であった。

(由木工房生活介護 津田三佐雄記)

《 より詳細な内容は「かたくりの会とわたしと」、ありんこ便り 27 号～30 号もご覧ください 》

お知らせ

◎ 新入会者

Y Aさん 由木工房 生活介護 (6月15日付)
S Tさん 由木工房 喫茶 (9月1日付)
T Yさん 由木工房 喫茶 (11月3日付)

◎ 退会者

O Nさん 由木工房 喫茶 (4月30日付)
H Hさん 由木工房 生活介護 (8月31日付)



秋が急速に深まり、冬まぢかです。寒さ対策、コロナ対策、インフル対策・・・と
大変ですがガンバって乗り切って行きましょう！！